



新島村の未来につながる

議会と議員定数について、一緒に考えませんか？

令和5年2月に改選予定の新島村議会。
 前回の無投票を受け、議員定数の議論を活発に行ってきました。

**1. 維持/削減と意見が分かれる
 各議員の主張と、
 議会の取り組みをご覧ください**



QRコードを読み込むと、「議員と一緒に考える会」の全資料をご覧いただけます。報告は裏面をご覧ください。

維持

総務常任委員長

- ②綾とおる
多様な意見の聴取と集团的議論には一定数必要
- ③前田泉
偏り無い活動。議会活動を知っていただくために必須
- ④前田寿夫
2島3地区で地域の現状を理解各地区から議員が出やすく
- ⑥木村諭史
維持が合理的も、改善が前提
- ⑤青沼弘
2島3地区、幅広い年代の声を聴く
- ⑨青沼喜六
民意の反映、今回の削減は改革とマッチしない

削減

議長

- ⑩前田邦弘
村民からの負託で削減、報酬も議論
- ⑦前田卓秀
経験上8人でいける今ならオンライン活用も
- ⑧山本均
選挙で戦って入れ替わる。選挙があって当然
- ①小久保利佳
前回無投票、議員が多いという声

2. 土台となった これまでの議事録もご覧ください



論点1: 他と比べて多いか少ないか?
 多い方が、報酬が高くないわけではない。一律減らして、差で回る場合もある。⇒とりあえず次の議論へ

論点2: 選挙か、無投票か?
 ①候補者数を増やせばいい。②候補者を減らしていい。③選挙を減らしていい。④選挙を減らしていい。⑤選挙を減らしていい。⑥選挙を減らしていい。⑦選挙を減らしていい。⑧選挙を減らしていい。⑨選挙を減らしていい。⑩選挙を減らしていい。

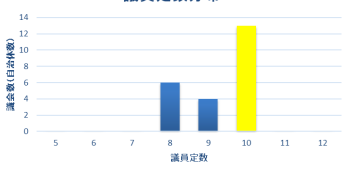
論点3: 報酬と仕事量のバランス
 ①仕事量が増える。②仕事量が増える。③仕事量が増える。④仕事量が増える。⑤仕事量が増える。⑥仕事量が増える。⑦仕事量が増える。⑧仕事量が増える。⑨仕事量が増える。⑩仕事量が増える。

論点4: “家”としての重み (本業/兼業)
 ①本業/兼業。②本業/兼業。③本業/兼業。④本業/兼業。⑤本業/兼業。⑥本業/兼業。⑦本業/兼業。⑧本業/兼業。⑨本業/兼業。⑩本業/兼業。

論点5: “議会”としての仕事量・必要性
 ①必要性。②必要性。③必要性。④必要性。⑤必要性。⑥必要性。⑦必要性。⑧必要性。⑨必要性。⑩必要性。

- 論点を整理しつつ議論
- データを解析して検証
- 各議員の考えを事前にまとめてから討論

R3人口2500~2750人の自治体の議員定数分布



- 外部資料の論点も参考にしました
- 全国町村議会議長会発行
議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き～P56 議員報酬を考える8つの視点～を抜粋
- ①定数・報酬は議会がポリシーを示す
- ②報酬や定数の根拠をそれぞれを説明する
- ③削減=改革ではなく、住民自治の創出が出发点
- ④多くの人が将来立候補し活動しやすい条件
- ⑤削減の場合は住民による政策提言・監視
- ⑥住民と考える議員報酬・定数
- ⑦特別職報酬等審議会の有効活用
- ⑧周知する十分な期間

3. みなさまの考えをお聞かせ下さい!

アンケート受付中

右のQRコードよりアンケートフォームに記入していただけます。

募集〆切：8月22日 10時



議員と一緒に考える会 オンライン (ZOOM) 開催

右のQRコードよりお申し込みください。(事前予約)
 1回目：8月3日 (水) 20:00-
 2回目：8月20日 (土) 20:00-
 (どちらも同じ内容です)



4. 最終的な採決は8月末の総務常任委員会で予定しております。
 本会議場での議員間討論をぜひ傍聴やインターネットでご視聴ください!